

科目名	英語	英文表記	English	2011年3月16日			
科目コード	1002						
教員名：新川智清、青木久美、Timothy Newell 技術職員名：					作成		
対象学科／専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科		1年	必	履修	3単位	演習	通年
目標 及び 評価方法	目標項目			評価方法及びその割合			
	①多読学習の意義と方法を十分に理解させる。絵本から読み始め、YL0.8程度の図書を読めるようにする。やさしい英文を大量に読むことにより、基本的な英語力を習得する。後期は週に5千語以上読むようにする。			①定期試験25%×2=50% 読書総語数及び内容10%			
	②TOEIC BridgeのReading部門に対応できる基礎的読解力を身につける。			②TOEIC Bridge IP Reading 20%			
③後期から体系的な英文法の学習を導入する。			③文法小テスト20%				
高専 目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称		全プログラム
	◎	○	○	(空)	JABEEプログラム教育目標		
授業概要、方針、履修上の注意	次に挙げる図書を読み進める：Oxford Reading Tree (1-9), Longman Literacy Land (1-6), Oxford Bookworms Starters, Penguin Readers Easystars, Macmillan Readers Starters, Cambridge English Readers Startersなど						
教科書・教材	・『めざせ100万語 読書記録手帳』（SSS英語学習法研究会） ・多読図書教材 ・総合英語Forest ・Framework English Grammar in 23 Lessons ・ジーニアス英和辞典						
授 業 計 画							
回次	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			予 習 項 目	
1	本科目の学習についての概要説明	2	英語を学ぶことの意義、多読学習法、授業概要や評価方法等について説明する。				
2～15	多読教材を用いた各自の学習	28	<ul style="list-style-type: none"> ・多読学習法の三原則である「辞書を引かない」「わからない単語は飛ばす」「本の内容が分からず、つまらなくなったら後回しにする」を実践する。 ・100%の理解を求めず、易しい英文を楽しく読ながら、徐々にレベルを上げていく。 ・毎分80語程度で読める各自に適したレベルの本を、日本語を介さずに理解することを目指す。 ・読んだ本は読書記録手帳に、総語数、YL、シリーズ名、感想等を記録する。 			・授業外多読	
	前期期末試験	[1]					
16～45	多読教材を用いた各自の学習	60	<ul style="list-style-type: none"> ・休みの間に多読が中断した可能性を考慮し、前期の読書レベルより一段下の多読教材から読み始める。 ・読書方法に変化を持たせる一多読学習法の三原則を堅持しつつ、自分に適したレベル、それより上のレベル、それより下のレベルの本を混ぜて読む「チャンプル読み」を実行する。 ・英文を毎分90語程度で、30分以上継続して読めるようにする。 ・読了後は、読書記録手帳に記録する。 			・授業外多読 ・辞書を用いて英文法予習	
期末	後期期末試験	[1]					
学習時間合計		90	実時間			75	